

令和4年第8回鹿角市議会定例会 一般質問

□質問順位及び質問所要時間

12月8日（木）午前10時～	1	栗山尚記	議員	（45分）
	2	浅石昌敏	議員	（60分）
	3	湯瀬誠喜	議員	（30分）
	4	安保誠一郎	議員	（30分）
12月9日（金）午前10時～	5	舘花一仁	議員	（60分）
	6	成田哲男	議員	（30分）
	7	丸岡孝文	議員	（45分）
	8	兎澤祐一	議員	（60分）

□質問時間割当表

10:00		10:45	10:55	11:55	13:00	13:30	14:00
12月8日 （木）	栗山尚記 （45分）	休憩 10分間	浅石昌敏 （60分）	休 憩	湯瀬誠喜 （30分）	安保誠一郎 （30分）	

10:00	11:00	11:10	11:40	13:00	13:45	13:55	14:55
12月9日 （金）	舘花一仁 （60分）	休憩 10分間	成田哲男 （30分）	休 憩	丸岡孝文 （45分）	休憩 10分間	兎澤祐一 （60分）

令和４年第８回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	1	質問者	栗山 尚記	質問所要時間	45 分
質 問 事 項				質 問 要 旨	
1	出産環境について (1) 分娩機能再開に向けた医師確保について (2) 出産に対する各種支援策について (3) 救急搬送について (4) 里帰り出産について			① 秋田県や大学病院間での協議により大館に集約された分娩機能を鹿角市で再開するには、市独自で医師確保をする必要があると考えるが、産科医確保について現状を伺う。 ① 地元での分娩機能再開がかなうまでの間は、移動時間による多様な問題のある、大館市立病院での出産に対する各種支援策が講じられているが、現状の利用状況について伺う。また、地元で産めないが故に発生する金銭的負担は、全て市や県・国がカバーすべきとも思うが、支援策に対する利用者から聞かれる問題点と、希望されているさらなる支援策についての今後を伺う。 ① 急なお産に対する大館までの移動には、多くの妊婦や家族が大きな不安を抱えている。救急車による搬送が考えられるが、利用には消極的な意見が多く聞かれる。利用状況と問題点に関して伺う。また、今後、さらなる他診療科の集約も進められていくことを考えると、ドクターカー導入などの思い切った対応も進めていく必要があると考えるが、これについても伺う。 ① 多くの若者が故郷を離れる中、親元で子供を産み手助けを望む多くの妊婦が里帰り出産を望んでいる。地元で分娩機能を有する病院がない現状、里帰り出産も大館市が頼りとなってしまう中、受け入れを断られるケースも多いと聞く。関係人口として最も大事にしたい彼女たちの希望を断つことは、あまりにも悲しい対応だと思うが、市としてしっかりと意見し、関係機関に強く受け入れ枠の拡大を要望すべきと思うが、現状と今後について伺う。	
2	高齢者介護について (1) 認知症予防について			① 高齢化が進む中、大きな社会問題として認知症に罹患する高齢者の増大がある。血管性認知症、アルツハイマー型認知症の両者とも、予防が非常に重要と考えるが、運動や食生活の工夫による生活習慣の改善は、市全体で今以上に積極的に推し進める必要があると思うが、実態と問題点について伺う。	

令和４年第８回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	1	質問者	栗山 尚記	質問所要時間	45 分
質 問 事 項				質 問 要 旨	
3	(2) 認知症専門外来の開設について			① 認知症の進行予防には、軽度認知障害の段階での「ものわすれ外来」などの専門外来受診が、その後の進行に対し大きなターニングポイントとなる。専門医が不在の当市において、常駐は困難でも定期的に受診可能な体制を実現する必要があると思うが、これについて伺う。	
	(3) 認知症患者の徘徊対応について			① 認知症患者を抱える家族にとっての大きな悩みとして、高齢者の徘徊行動がある。家庭内でいろいろな対策をしても体が丈夫な患者の外出を完全に防ぐことは難しい。一刻も早い発見ができなければ、大きな事故につながる可能性が高い。市内でも様々な対応をされていることは承知しているが、今一度問題点を洗い出し、さらなる対応が必要と思うが、考えを伺う。	
	(4) 高齢者に対する介護制度・介護サービス内容の周知について			① 急速に高齢化が進む中、複雑な介護制度のもと多種多様な介護サービスが存在し、その詳細は常に変化している。全てを理解することは現役世代にとっても困難を極める。ましてや高齢者のみで生活している方々にとっては、ほぼ不可能であると考ええる。対象者自身にマッチしたサービスの内容や利用料金を理解し、安心して利用していただくシステムの確立が必要と強く思う。行政サービスへの不満の軽減へもつながると思うが、現状と問題点・今後の計画について伺う。	
	(1) ICT活用について			① GIGAスクール構想の進展とともに、遅れを取っていた教育現場でのICTハード面は生徒１人に端末１台という形で急速に整った。しかし、指導方法や指導人材といったソフト面も、学校やクラス間の格差が出ないように早急に整える必要があると思うが、考えを伺う。また、全国に比べ後れを取っている家庭での端末利用に関しては、Wi-Fi環境の有無などの障害が存在し、解決する必要がある。これらをどのように進めていくのか伺う。	

令和４年第８回鹿角市議会定例会一般質問

No.3

順位	1	質問者	栗山 尚記	質問所要時間	45 分
質 問 事 項				質 問 要 旨	
4	(2) 統合高校への支援について			① 鹿角地域の３高校が統合し、地域唯一となる高校のスタートが２年後に迫っている。鹿角市の将来を見据えると市としてもしっかりと関わっていくことが望まれている。保護者や生徒の負担を減らすための通学に対する支援や学校給食導入の環境整備、優秀な人材を遠方より迎えるための学生寮の整備など、県任せでは賄いきれない課題が多く存在する。鹿角地域唯一となってしまう高校に対する市としての力強い支援を望む多くの市民の声に応える必要があると考えるが、これらについて伺う。	
	(1) J R 花輪線について (1) J R 花輪線の存続について			① J R 各社は、花輪線を含む利用者の少ない地方路線の収支を公表した。赤字路線の存続を巡る J R と沿線自治体の議論が全国的に加速することが予測され、国にもそれを促す動きが見られる。そこで、今後そういった検討や議論の場に臨む際、市長は、あくまでも存続を望む姿勢で挑まれるのか、代替案を含めた幅を持たせた姿勢で議論を進めるのか、シンプルに伺う。	

令和 4 年第 8 回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	2	質問者	浅石 昌敏	質問所要時間	60 分
質 問 事 項				質 問 要 旨	
1	松谷橋の修理について			① 松谷橋の修繕は、鹿角市橋梁長寿命化修繕計画のとおり進めるのか伺う。	
2	小坂町との合併について			① 平成 15 年に成し得なかった合併から 19 年の経過で、人口が鹿角市と小坂町を合わせて 1 万 2,904 人減少している。今後 20 年先を見据えたとき、合併を協議する時期と考えるが、市長の考えを伺う。	
3	鹿角市の農業について			① 稲作農家の多くは、もみ殻の処理に大変苦慮している。燃料が高騰している昨今、固定燃料化する設備の導入と支援等が必要と考えるが、市長の考えを伺う。	
	(1) もみ殻の活用について			① 稲作農家の多くは、もみ殻の処理に大変苦慮している。燃料が高騰している昨今、固定燃料化する設備の導入と支援等が必要と考えるが、市長の考えを伺う。	
	(2) スマート農業について			① 昨年度と本年度、スマート農業推進事業に 450 万円の予算措置をしているが、本年度の実証試験の結果並びに成果について伺う。	
				② 今まで実証試験を行ったスマート農業を今後どのように進め普及するのか、将来ビジョンについて伺う。	
	(3) 農地の地目変更について			① 市内には地目が畑であるが林地化している土地が多く存在している。今後どのように指導・処理するのか伺う。	
	(4) 昨年農林水産省が公表した問題について			① 昨年 12 月の農業新聞に「今後 5 年間一度も水張りをしない水田は農地とみなさない」との記事が掲載された。1 年経過した現在、国から説明があったのか伺う。また、農業者から多くの不安・疑問が寄せられているが、4 年後に向けた鹿角市独自の対策・施策は考えているのか伺う。	

令和４年第８回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

No.2					
順位	2	質問者	浅石 昌敏	質問所要時間	60 分
質 問 事 項				質 問 要 旨	
4 小水力発電の取組みについて (1) 小水力発電の推進について (2) かづのパワー支援について				① 雇用の安定のため、本市独自の小水力発電の開発・製造・運用が必要と考えるが、市長の考えを伺う。併せて、小水力発電開発に向けた各企業の合同研究協議会等の設立と、開発資金の支援ができないか伺う。 ① かづのパワーは電力料金の高騰で経営に苦慮している。小水力発電を普及させ、自然エネルギーをかづのパワーに供給することが、ゼロカーボンを目指す本市には必要と考えるが、市長の考えを伺う。	
5 危機管理と災害復旧について (1) 避難所について (2) 花輪堰根川原地区について (3) 花輪線を含む災害復旧の状況について				① 避難所に避難した場合の、避難所の食事に関するルール等の有無の市民への周知方法について伺う。 ① 今年 8 月に堰根川原地区は 2 回氾濫した。この数年、毎年氾濫しているが、県とどのような話し合いを行い、対策についてどのようにするのか伺う。 また、災害復旧は原状回復が基本である。しかし、異常気象が続く昨今、原状回復ではなく強靱化が必要と考えるが、市長の考えを伺う。 ① 本年の豪雨災害で J R 花輪線を含む多くの箇所が被災した。花輪線を含む全ての被災地の復旧見込みを伺う。	

令和4年第8回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	3	質問者	湯瀬 誠喜	質問所要時間	30 分
質 問 事 項				質 問 要 旨	
1	J R 花輪線の今後について				
	(1) J R 花輪線の将来ビジョンについて			① J R 花輪線は8月の豪雨災害により運休となっているが、復旧作業も進み来年4月から5月ごろに全面復旧の見通しが示され、早期復旧に期待している。昨今の報道でJ Rのローカル線は非常に厳しい経営状況にあり、花輪線も路線維持が厳しい状況にあることから、2023年度に国がJ Rと沿線自治体を仲介し協議する場を設ける方針を打ち出している。以前から花輪線利用促進協議会が利用促進や陳情等の活動を行っているのは承知しているが、運転再開後の花輪線について、鹿角市としての将来ビジョンを伺う。	
	(2) J R 花輪線の利用促進対策について			① 2024年度に鹿角市、小坂町にある高校三校が統合し、新たな公立高校が開校する予定だが、小坂町では高校生への就学支援として交通費の支給を検討しているようだ。J Rの利用促進につながることから通学定期券に対する補助金などの支援を行う考えはないか伺う。 ② 他自治体では、J R花輪線存続に向けた様々な取り組みを行っていると聞くが、鹿角市ではどのような取り組みを行っているか伺う。また、市役所などの公共施設やかづの厚生病院など市民の利用頻度が多い施設周辺へ列車に乗降可能な施設を鹿角市で増設し、路線バスなどとの接続を強化して交通インフラの利便性を高め、利用促進につなげる考えはないか伺う。	
2	8月の豪雨災害について				
	(1) 豪雨災害の復旧状況について			① 8月の豪雨により、住宅への土砂流入や浸水、護岸の崩落など、被害が市内の広範囲に及んでいる。復旧には相当の時間がかかると思われる。住宅被害など日常生活に影響を与えるような緊急性がある被害や、基幹産業である農業を支える水路などの重要な施設への被害については、優先順位をつけながらの復旧作業になると思われるが、現在の復旧の進捗状況と今後の計画を伺う。	
	(2) 担当窓口の一本化について			① 災害復旧申請の際、担当部署が多数あるため申請者が困惑する場合があると聞くが、窓口を一本化できないか伺う。	

令和 4 年第 8 回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	3	質問者	湯瀬 誠喜	質問所要時間	30 分
質 問 事 項				質 問 要 旨	
3	(3) 大湯中川原地区の避難ルートについて			① 大湯地区の避難所へ行くには、住民の多数が大湯川を渡る必要があり不安を抱えている。その中でも中川原地区は土石流と大湯川の氾濫の危険性が高く、自宅にとどまることが危険である。また、大湯川右岸、避難所側の地域でありながら、避難所へ続く道路がないため、避難の際は二度大湯川を渡る必要があることから、安全な避難行動のための新たな道路を設置する考えがないか伺う。	
	大湯環状列石について				
	(1) 世界遺産登録後の経済効果について			① 世界遺産に登録後、大湯ストーンサークル館の入場者数も順調に伸びているが、登録後の市内への経済波及効果をどのように捉えているか伺う。	
3	(2) 案内標識について			① 世界遺産登録に伴う見学者の増加を一過性にしないため、宣伝活動の強化が必要と考えるが、市内の観光ルート上に設置されている案内看板が少ないように感じる。道案内や世界遺産をアピールする看板の増設について考えを伺う。	
	(3) 十和田湖周辺施設へのポスターやパンフレットの配置について			① 国立公園で観光客も多い十和田湖だが、周辺の施設では大湯環状列石や花輪ばやしなど鹿角市の観光資源を紹介するポスターやパンフレットが少ないという声がある。近隣市町村と連携した観光客誘致を図るため、十和田湖周辺の施設においても、ポスターの掲示やパンフレットの設置など鹿角市の魅力の露出機会を増やす必要があると考えるが、市の考えを伺う。	
	4 コミュニティナースの導入について			① 高齢化が進む中、ひとり暮らしの高齢者が増加している。見守りなどは地域包括支援センターや社会福祉協議会、自治会の協力を得ながら対応しているが、今後自治会員等も高齢化し体制の弱体化が予想される。その対策として、地域おこし協力隊としてコミュニティナースを採用し、健康福祉などの課題解決に向けた活動をしてもらう考えがないか伺う。	

令和４年第８回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

No.1					
順位	4	質問者	安保 誠一郎	質問所要時間	30 分
質 問 事 項				質 問 要 旨	
1 観光振興策について (1) 「左多六神社」の造営について				① 地域を代表する民話「左多六とシロの物語」を「忠犬ハチ公」に匹敵する忠犬物語として発信し、誘客につなげようという取組みは理解できるが、本来、草木にあるべきものが、道の駅おおゆに移設造営された経緯について伺う。 ② 「左多六神社」を管理する恋する鹿角カンパニーは市の指定管理者であることから、政教分離の観点において疑問を感じるが見解を伺う。 ③ 賽銭箱が設置されているが、賽銭の出納管理について伺う。	
(2) 八郎太郎の「三湖伝説」について				① これからの観光振興は広域連携が必要不可欠と考える。市長が掲げる北東北ゴールド構想の一つである「三湖伝説」は、十和田湖・八郎湖・田沢湖を結ぶ広域的なものであり、時宜にかなった振興策と言えるが、どのような連携策で誘客につなげていくのか、その取組みについて伺う。	
2 鹿角観光ふるさと館「あんたらあ」について				① かつの観光物産公社が運営管理している鹿角観光ふるさと館「あんたらあ」の決算報告等の適正について調査したとのことだが、調査しなければならなかった経緯とその結果について伺う。 ② このことについて、今後、市はどのように取り組んでいくのか伺う。	
3 鹿角パークホテルについて				① 補助金 3 億円は第 1 期から第 3 期工事のうち、第 1 期分の工事費とすることで、前回の一般質問でその内訳は伺ったが、第 2 期工事と第 3 期工事はいつ実施されたのか。また、工事額は幾らだったのか伺う。 ② 計画案では 2023 年度に黒字の計画となっているが、今年度の経営状況について伺う。	

令和４年第８回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	4	質問者	安保 誠一郎	質問所要時間	30 分
質 問 事 項				質 問 要 旨	
4 林業支援について				③ 鹿角パークホテルと同様に、倒産などにより事業継続が困難となり、その事業の継続を市外の企業が申し出た場合には、今回同様に誘致企業としての様々な支援措置を市として行うのか伺う。 ① 東京都葛飾区は令和４年３月に策定した「第３次葛飾区環境基本計画」において、公共施設での木材利用促進のため鹿角産木材の調達を明記しているが、その内容について伺う。 ② 葛飾区以外にも鹿角産木材の利用を広げる取組みをするべきと思うが見解を伺う。	

令和４年第８回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	5	質問者	館花 一仁	質問所要時間	60 分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
1	小規模水道組合の機能充実について		① 市内の小規模水道組合はどの程度あるのか伺う。 ② 人口減少や管理者の高齢化などにより、長期的に維持管理が難しくなってくることが考えられるが、市として補助や支援等は考えられないか伺う。		
2	災害対応について		① ８月１２日の大雨の際、深夜の避難所の開設となったが、もっと早い時間の開設はできなかったのか。また、避難所開設に携わる職員の危険性などの考慮はされなかったのか伺う。 ② 第三セクターなどの赤字会社は、東日本大震災の際の被害復旧で国の補助を受けられているが、ＪＲは国の補助が受けられていない。赤字路線であるＪＲ花輪線の被害復旧に当たり、国の補助が受けられるよう市として積極的に行動してはどうか伺う。 ③ ６月に策定した防災基本計画において、アレルギーに対応した食料の備蓄を自治体の努力義務として明記したところだが、市の状況を伺う。また、厚生労働省ではアレルギーに詳しい管理栄養士との連携を呼びかけているが、災害時の連携についての考えを併せて伺う。		
3	鹿角市 2030 ゼロ・カーボンシティ宣言について (1) 目標について		① 鹿角市は今年３月にゼロ・カーボンシティ宣言を表明したが、国の目標である 2050 年を待たずに達成するとした根拠について伺う。 ② 湯沢市では行政と事業者が一体となって宣言を行っている。市民や市内事業者の意識を変えることが重要と考えるが、市内団体と共同で宣言するつもりはないか伺う。		

令和4年第8回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	5	質問者	館花 一仁	質問所要時間	60 分
質 問 事 項				質 問 要 旨	
4		図書館について		(2) 市民への支援について	
				① ゼロカーボンの達成には市民一人ひとりの理解を進めることが重要と考えるが、過去に実施した太陽光パネル設置への支援を復活させる考えはないか伺う。	
				② 災害時に備えて、家庭用蓄電池の設置に支援をする考えはないか伺う。	
				③ 仙台市では太陽光パネル共同購入事業を今年度スタートさせたが、本市でも同様の取組みは可能か伺う。	
5		改正食品衛生法について		④ 青森市や弘前市では、地中熱を活用したヒートポンプ式融雪や屋根の融雪に対して無利子貸付や補助事業を実施している。二酸化炭素排出量削減にもなることから、同様の助成は考えられないか伺う。	
				(1) 十和田図書館及び十和田市民センターについて	
				① 立山文庫継承十和田図書館の設計が進んでいるが、コモッセのように子育て支援施設を併設できないか伺う。	
				② 十和田市民センターも老朽化してきており、近い将来改築が必要であるものとする。これを機にコモッセと同様、複合施設として一体的に建て替えるなどの手法も考えられると思うが、市としてはどのように考えているか伺う。	
		花輪図書館について		① 社会人の学習機会の創出を考慮し、花輪図書館の利用時間を延長できないか伺う。	
				② 道の駅や直売所の加工品は、地域を紹介する目玉であり、取り組む方を増やすべきと考えるが、法改正を機に県内でも高齢者を中心にやめようという声がある。本市における共同加工場の設置や、独自整備への支援への考えはないか伺う。	

令和４年第８回鹿角市議会定例会一般質問

No.3

順位	5	質問者	館花 一仁	質問所要時間	60 分
質 問 事 項				質 問 要 旨	
6	キャンプブームについて			① 近年キャンプがブームになっているが、本市キャンプ施設利用者数の推移について伺う。 ② コロナ禍でブームが加速したソロキャンプや、高級志向のグランピングなどキャンプのあり方が多様化しているが、市内のキャンプ施設はどのような戦略を持って誘客を進めているか伺う。 ③ 八幡平オートキャンプ場「アスピア」が閉鎖後５年ほど経過しているが、キャンプブームやキャンプ関連企業進出の動きに乗じて復活させることが八幡平観光の光になるものとする。市としてアスピア再開に向けた県への働きかけ等を行っているものか伺う。	
7	医師確保対策について			① 市長の公約で医師確保対策が挙げられていた。来春開設見込みの診療所については、前市長時代の成果が今見えているものとする。市長が話していた厚生労働省とのつながりなどを生かした医師確保など、市長独自のルートでの医師確保はいつになれば示されるのか伺う。 ② 厚生労働省とのつながりでの医師確保となれば、場所の確保も難しいものとする。まちなかオフィスをメディカルセンターとして再整備し、賃貸できることをアピールする考えはないか伺う。	
8	企業誘致について			① コロナ禍の中で首都圏への企業訪問等は限定された状況と思うが、現在どのような手法・戦略をもって企業誘致活動を進めているか伺う。 ② データセンター誘致の候補地について、本県では全国最多である 13 カ所が掲載されたが、本市は含まれていなかった。冷涼な気候や再生可能エネルギーなどアピールできる点も多いと考えるが、手を挙げなかった理由は何か伺う。	

令和 4 年第 8 回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	6	質問者	成田 哲男	質問所要時間	30 分
質 問 事 項				質 問 要 旨	
1	新型コロナウイルスについて			① 9 月末から感染者全数把握が見直され、高齢者や重症化リスクがある方に限定となったことで、発生届の対象外の方が自宅療養中などの場合の状況は把握できているものか伺う。 ② オミクロン株対応のワクチン接種率は 19.8%のようだが、ワクチンの効果をどのように見ているか伺う。 ③ インフルエンザとの同時流行が懸念され、県の対応方針が示されたようだが、本市としてはどのような検討をしているか伺う。 ④ 高齢者施設や教育機関でのクラスターが県内で発生しているが、本市の対応について伺う。	
2	奨学金制度について			① 返済を不要とする奨学金制度創設の意見の検討状況について伺う。 ② 今年度、市が始めた返済助成事業の成果または現状について伺う。	
3	鹿角小坂地区統合校について			① 統合校の開校があと 1 年 4 カ月となった。それに向けて生徒や保護者に対する補助を何か検討されているか伺う。	
4	保健事業について			① 特定健康診査、若年者健診などを実施しているが、令和 3 年度目標の受診率 55%に対しどのような結果になっているか、低いとすれば原因は何か把握しているか伺う。 ② 今年度から糖尿病重症化予防事業を始めたが、その内容などについて伺う。	
5	風流踊のユネスコ無形文化遺産登録について			① 本市の毛馬内盆踊りを含む「風流踊」がユネスコに登録される見通しであるが、4 つとなる世界遺産を市として今後どのように生かしていこうとしているか伺う。	

令和4年第8回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	7	質問者	丸岡 孝文	質問所要時間	45 分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
1	(仮称)鹿角市投票率向上推進計画について			① 第6回定例会で、投票所を統廃合し共通投票所を市内6カ所に設置するも投票率が県内最低となったことへの今後の対策を問われ、12月末までに「(仮称)鹿角市投票率向上推進計画」を策定し公表するとの答弁があったが未だに内容が明らかにされていない。現在の状況について伺う。 ② 前回の答弁では、既に策定に向けて作業を進めているとのことであり、以降、鹿角市明るい選挙推進協議会からの意見聴取、パブリック・コメントを実施するなど、広く市民からの意見を(仮称)鹿角市投票率向上推進計画に反映させるとのことであったが、鹿角市明るい選挙推進協議会からはどのような意見が出されているのかを伺う。 ③ 来春実施の県議会議員選挙の投票日まで4カ月ほどとなっているが、このままでは市民の声が反映された投票率向上への取組みとはなり得ないように思える。それでも現行のやり方を続けるのであれば、どのような具体的対策を行うのか伺う。	
2	時代に即した誰も取り残さない新たな情報発信ツールとローカル5Gについて (1) データ放送利用による情報発信導入について			① 全国の自治体では、家庭のテレビにあるデータ放送受信機能を利用した自治体の広報をはじめ、各種の情報、災害時には避難情報などを通知するサービス利用が広がっている。今月から湯沢市でも導入し、隣県の青森県でも複数の自治体が行っている。現在多用しているメールでの通知に比べ、高齢者にとっては使い慣れたテレビのリモコン操作で情報確認が見慣れたテレビで出来るほか、聴覚障がい者にとっても視覚での情報入手ができ、災害時の早期安全確保にもつながる。家庭ではテレビさえあればインターネットなどの設備構築もいらず、個人の使用料もかからない。サービスを行っているテレビ局から何らかのアプローチがされているのか、また、市民生活全般の情報伝達が可能となるこのシステムについて導入すべきと思うが、考えを伺う。なお、今のホームページについても求める情報が探しにくいとの市民の声があり、改善を求めるがいかにか。	

令和 4 年第 8 回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	7	質問者	丸岡 孝文	質問所要時間	45 分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
(2) 鹿角ローカル 5G 構築について			① あらゆる産業においてデジタル技術の導入と進歩が進む中、今後鹿角市でもあらゆる分野で D X 化が想像以上のスピードで進むことが想定される。D X にとって通信の安定と品質は重要であり、そのためにも鹿角ローカル 5G 構築は不可欠である。構築に向けての考えと現在の取組みについて伺う。		
3 市民の移動手段確保について					
(1) 生活交通確保維持改善計画について			① 地域公共交通活性化協議会が年 2 回ほど開かれ「生活交通確保維持改善計画」が策定されているようだが、今までの成果と次年度の計画について伺う。また、地域交通維持確保対策にかかる費用について、令和 2 年度は 1 億 1,700 万円、令和 3 年度は 1 億 2,900 万円ほどだが、次年度の見込み額と自主財源の割合・金額を伺う。		
(2) 市民感情について			① 毎年 1 億円の税金を支出しての「維持確保対策」について、自主財源といういわば「市が自由に使える財源」を投入して見込む目的は達成されているのか伺う。また、市民からは「空バスが走っている」との声や、公共交通不便地域の住民から「バス停が遠くて行くのが大変で使えない」との声が多数あるが、それについての行政としての思いを伺う。		
(3) 生活交通確保維持改善にかかる経費について			① 令和 3 年度の運行業務委託料が約 3,150 万円、生活バス路線運行費補助金が約 7,920 万円であるが、地域間幹線 2 路線に対しての委託料や補助金は含まれているのか伺う。また、フィーダー系統路線は 9 路線 13 系統となっており、運行会社への委託料と運行補助金が支払われているが、委託契約締結時に運行補助金ありきでの契約となっているのか、契約 3 社ごとの委託料・運行補助金の額を伺う。		
(4) 地域公共交通のあり方について			① 地域内フィーダー系統確保維持費補助金の支出が 4 路線となっているが、その路線名と他の路線が対象外となっている理由について伺う。また、当市は全域が交通不便地域に指定されているが、今のフィーダー系統路線による輸送から交通空白輸送へ転換することで、市の財政負担削減と過疎地区の住民の移動手段が確保され、特に高齢者の引きこもり対策や生きがい創出につながる可能性がある。地域公共交通の仕組み転換の考えがあるか伺う。		

令和4年第8回鹿角市議会定例会一般質問

No.3

順位	7	質問者	丸岡 孝文	質問所要時間	45 分
質 問 事 項				質 問 要 旨	
4	(5) 新たな地域公共交通を考える タスク設置について			① 昨年、三種町の「みたねバス」、横手市の「狙半内地区コミュニティバス」について調査視察を行い、行政の担当者やNPOの方から住民との共助による地域交通網の立ち上げから運用、現在の状況について伺ってきた。特に「みたねバス」については、本年「行政がバスを運行する共助団体設立を主導し住民が暮らしの足を自分事として考える仕組みづくりを構築したこと」が評価され、「地域公共交通優良団体国土交通大臣表彰」を受けている。 担当の三種町企画政策課課長補佐より「使い勝手の悪い公共バス路線維持に多額の税金が使われていることが長年続き、なんとか解決しなければとの思いで何度も住民と話を重ねた」と伺い、ぜひとも当市職員の「みたねバス」視察と、庁内に専門に新たな地域公共交通を考える部門を超えたタスクの立ち上げをすべきと思うが考えを伺う。	
	I C T教育推進の現状について				
	(1) 新型コロナ禍での状況について			① 10月以降、新型コロナウイルス感染者数が急激に増加し、第8波の流行期に入ったと言われているが、り患者は7日間、家族などの濃厚接触者は5日間の自宅療養となるため、その間、児童生徒は休学を余儀なくされる。10月以降中学生以下の感染者が多く確認されたが、鹿角市内の小中学校児童生徒の10月以降の感染者数と1人平均の休学日数、学級や学年閉鎖、休校措置が取られ登校できない間の家庭学習と保護者との連絡はどのように行われたか伺う。	
	(2) 新型コロナ・インフルエンザの同時流行期への対応について			① この冬は新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行が懸念されており、学級や学年閉鎖、あるいは学校が一定期間休校となることも想定される。 新型コロナの大流行により計画が大きく前倒しとなったGIGAスクール構想は、その目的に非常時の子供の学びの場の確保を挙げているが、当市では学校現場でのデジタル化やデジタル授業への対応に傾注している。学びの場の確保へ「やむを得ず学校に登校できない場合、平常時の活用ルールにとらわれることなくICTを最大限に利用した遠隔による学習対応の実現をするように」と文科省が通達を出している。昨年9月の令和3年第4回定例会において、児童生徒に配付しているタブレット端末の自宅への持ち帰りについて「家庭での通信環境、持ち帰り時の端末破損や持ち帰り時の管理方法など課題が多く持ち帰りは認めていない」、また「やむを得ない状況により学校が臨時休業となる場合には、当面の間はプリント等の持ち帰りによる学習を原則としている」との当局の答弁があったが「今後は休業が長期にわたる場合などに備え、状況に応じて必要な対策を検討する」とも答弁している。あれから1年が経ち、持ち帰りに向けた取組みはどのようなになっているか伺う。また、このような事態の場合、学習機会の確保や児童生徒の安否確認、家族との諸連絡について、児童生徒に貸与しているタブレットもしくは個人所有のスマホ・タブレット・パソコンを利用するなどして行うべきと思うが、その考えはないか伺う。	

令和4年第8回鹿角市議会定例会一般質問

No.4

順位	7	質問者	丸岡 孝文	質問所要時間	45 分
質 問 事 項				質 問 要 旨	
(3) 児童生徒の家庭における通信環境について				① 9 月末頃に、花輪小学校に通う児童にタブレットの持ち帰りをさせ、学校と自宅をグーグルミートで接続することを行ったと思うが、当日教育委員会の窓口でその目的を伺ったところ、「家庭での接続環境の確認」とのことであった。同じ調査を他の学校でも実施されていると思うが、先月開かれた市長と教育委員会の委員との協議の場で、小中学校児童生徒の家庭におけるインターネットへの接続が可能である割合について、一昨年の調査で 70 数%ほどとの報告がされたと報じられていた。これは令和3年第3回と第4回定例会での家庭でのネット環境に関する質問に対しての答弁の、令和2年度の調査結果の家庭でのインターネット利用可能が小学校で 95.9%、中学で 91.6%、ただしWi-Fi環境ではないがその内の 26.3%との内容と同じもののように思われる。そこで答弁された数字を基に家庭でタブレットを利用することが難しい、出来ないと思われる児童生徒数を計算してみると500名以上となり、令和3年第4回定例会では「今後につきましては、児童生徒のいる世帯を対象とした調査を改めて実施し、現在の正確な数値と各家庭の意向等の把握に努めてまいります」とのことであったが、その後の調査により判明した家庭において家庭学習用のWi-Fi環境が整っていない世帯数と、設備の設置意向調査では未設置世帯からどのような意見が出されているのかを伺う。	
(4) 家庭での通信環境の改善策について				① 昨年、公費による家庭での学習環境対応ができないか伺った際、「今は公費での支援は考えていないが、今後の状況に応じて必要な検討を行う」との答弁であった。しかし家庭における設備状況は改善される兆候は見られておらず、「今後整備される家庭が増えていくと」という教育委員会の見込みは外れたと言える。加えて物価の高騰により必要な物まで節約を余儀なくされている現状では、「通信環境の整っていない家庭への設備設置の働きかけ」だけで環境が整うとは思えない。義務教育のデジタル化であれば生活環境により学びの機会に差が出ること自体あってはならないことであり、支援策を早急に取りまとめ実施すべきであり、その考えがあるかを伺う。	

令和4年第8回鹿角市議会定例会一般質問

No.5

順位	7	質問者	丸岡 孝文	質問所要時間	45 分
質 問 事 項				質 問 要 旨	
5	給食食材中アレルギーフリー品目の確認と次年度の改善取組みについて			① 現在、給食提供に使用しているアレルギー対応の食材については、昨年第4回定例会にてパン・ウインナー・ハンバーグ・ドレッシング等の加工品と調味料であると答弁をいただいている。それらの品目は、それにかかる費用は特別には試算していないとのことであったが、答弁いただいた品目の食材は消費者庁の定めるアレルギー除去食品、もしくはアレルギー不使用表示のある食材（加工品）であるとのことであるか再度の確認と、今年度新たに使用したアレルギーフリー食材、次年度使用を予定している食材を伺う。また、今年度の完全除去メニューを見ると何度か「味噌ラーメンや煮干しラーメン」「焼きそば」では中華麺がうどん等へ変更して提供されているが、グルテンフリーの麺を使用することで全児童生徒が同じメニューとなるのではないかとと思われるが、何か問題がありグルテンフリー麺を使用しないのか伺う。併せて、次年度はアレルギー対応の完全除去メニュー提供に当たり、予算を含めどのような改善を図るかを伺う。	
6	学校給食の無償化について			① 学校給食は戦後の食糧難時代に子供たちの心身の健全な成長を育むため「学校給食法」で、子供が一日に必要な栄養素の三分の一を摂れるよう指導がされ、現在は法の改定により「食育」の観点で重要視されているが、今また生活困窮により家庭での食事制限での栄養不足を給食で補っている子供たちが増えてきている。子供たちにとっても保護者にとっても、「食育」の学校の給食時間は「学び」の時間であり、小中学校においては義務教育と捉えるべきである。提供される食事は教材であり、できる限り家庭への負担をなくすよう行政として努めるべきと思う。また、学校給食の無償化を行う自治体が増えてきているが、その理由としては先ほどの義務教育内の「食育」と捉えている場合と、保護者家庭の経済的負担軽減である。鹿角市においては物価高騰による食材、燃料の高騰分を保護者に求めずにいるが、市の負担増はどれほどになっているか、さらに、その増額分は国や県の補助金なのか市の持ち出しか。次年度も保護者への負担を求めるべきではないと考えるが市の対応を伺う。	
	(2) 自主財源等利用について			① 私が試算したところ、今年度は市全体で保護者からの給食費負担金は1億1,000万円ほどとなる。それに物価高騰分として保護者が1,000万円負担したとすれば約1億2,000万円で、先に述べたように義務教育での給食は「食育、学び」であり本来無償とすべきであるが、一気に無償化は求めないとして、市の財政については「健全」、「安定している」ということであり、保護者負担額を半額とするための額は、現在の市の財政では賄えない額なのかを伺う。	

令和４年第８回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	8	質問者	兎澤 祐一	質問所要時間	60 分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
1	ＢＣＰ（事業継続計画）について			① 本市におけるＢＣＰ策定状況について伺う。	
				② 企業によってＢＣＰ策定に対する意識に開きがあるが、地元企業の現状をどのように認識しているか伺う。	
				③ 自然災害だけでなく、新型コロナウイルス感染症等を見据えたＢＣＰの策定が必要と考えるがいかがか。	
				④ 今回の新型コロナウイルス感染症の蔓延については、企業に国・自治体から支援金等を給付した。しかし、企業自体が自発的な備えをする必要があり、これらを踏まえたＢＣＰの策定が必要と考えるがいかがか。	
				⑤ テレワークの普及など、働き方改革への効果も期待されているが、このような点も踏まえた計画策定を進めるべきと考えるがいかがか。	
2	子宮頸がんワクチンについて			① 令和２年１０月から、国では対象者への情報提供に対する指示があったが、令和２年１０月から令和３年３月までの対象者への対応はどのようになっていたか伺う。	
				② 本年４月から本格的に勧奨することとしているが、通知実施世代への勧奨の現状と今後の動向について伺う。	
				③ ２０１３年から昨年まで勧奨を差し控えた方々に対する、新たな接種機会の確保に向けた対策はどうなっているか伺う。	
				④ 現在までの接種率はどのように推移しているのか伺う。	

令和4年第8回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	8	質問者	兎澤 祐一	質問所要時間	60 分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
3		通園バスの安全確保に向けた取り組みについて	⑤ このワクチンについては、女性だけでなく男性に対する接種の必要性が報告されているが、本市の対応について伺う。		
			⑥ 9 価のワクチンが現在準備されているが、令和5年の接種開始予定への対応について伺う。		
			⑦ ワクチンの接種に当たっては、対象者に対するワクチン接種の検討・判断するための必要な情報提供が行われるとともに、接種後に体調の変化を感じた際の相談や診療などの相談支援体制を確保する必要があると考えるがいかがか。		
			⑧ 本市の園児等に対する安全を確保するための対策は、どのようになっているのか伺う。		
4		地域介護、福祉空間整備等施設整備交付金の活用について	② 来年4月から通園バスの安全装置や所在確認が義務化されるが、本市の取り組みについて伺う。		
			③ 全国の幼稚園や保育所、認定こども園に対する緊急点検で、1 割が乗降時に子供の人数や名前などの確認や記録をしていなかった。置き去りを防ぐ研修を実施している施設も半数にとどまっている。本市の現状はどのようになっているか伺う。		
			④ 国土交通省では、年内のガイドライン策定を進めていると伺っているが、本市としてマニュアル等はあるのか伺う。		
			⑤ 福祉施設等のニーズ調査が必要と考えるがいかがか。		
5			⑥ 市内施設利用者の安全と安心のためにも、地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金を活用すべきと考えるがいかがか。		

令和４年第８回鹿角市議会定例会一般質問

No.3

順位	8	質問者	兎澤 祐一	質問所要時間	60 分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
5	グリーンライフポイント制度の導入について		① 地域のグリーントランスフォーメーション（GX）について、どのように考えているか伺う。 ② 温室効果ガス排出源の６割以上が衣食住の分野だが、市民のライフスタイルの転換に対する取組みについて伺う。 ③ 環境問題に積極的に取り組んでいる企業と連携して、グリーンライフポイントを導入し、市民一人ひとりが環境問題を自分ごととし、環境に配慮したライフスタイルの転換への機運を高めることも必要と考えるがいかがか。		
6	不登校の現状と対策について		① 市内の小中学校の不登校の実態は、現状どのようなになっているのか伺う。 ② 今後も増加が予想されているが、どのように改善していくのか伺う。 ③ 本人の意向が大切と考えるが、いろいろな学びの選択ができるような体制が必要と考える。また、同時に相談体制の強化も大切と考えるがいかがか。 ④ いじめの問題も一因になっていると考えられる。いじめの件数増加とともに、低年齢化も指摘されているが、今後の対応について伺う。		
7	エコスクールについて		① 学校での環境教育は現在どのように進められているのか伺う。 ② 市内の小中学校で「エコスクール・プラス」の認定を受ける考えはあるか伺う。		